

うことを真剣に皆で議論・検討しました。その結果、「がんから身を守る会」を立ち上げました。

**Q.**既に取り組んでいますか。

**伊奈副院長**／今年7月から取り組んでいます。大腸がんに関心のある方々が入会されており、「がんが不安だったが検診を受けて異常のないことが確認できてよかった」と口々に安心されています。

**Q.**この安心を得ていただけることが「がんから身を守る会」の大きな狙いです。どんな検査が行われますか。

**伊奈副院長**／胃がんの発症原因となるピロリ菌の血液検査、便潜血検査と大腸CT（コロノグラフィー）検査を行います。

**Q.**大腸検査の場合、検査前に食事制限があり、これが検査を受けない理由の一つにもなっています。「がんから身を守る会」で検査を受ける場合、こうした制約はありますか。  
**宮外主任**／検査前日のお昼から大腸CT検査用の専用食FG-one食を食べていただきます。これはレトルトのカレーライスと親子丼で、電子レンジなどで簡単に温めて食べることができます。

**Q.**検査前とは何時間前からですか。

**宮外主任**／検査前日の朝食は通常通り好きなものを食べていただき、昼食と夕食はそれぞれ専用食のカレーライス、親子丼で、午後7時以降は食べません。検査当日の朝はコーンスープが付いていて、トースト1枚を食べていただいてもかまいません。今までの検査に比べて制限の少ないのが大きな違いです。

**Q.**簡単に大腸がんの検査は受けられるということですね。

**宮外主任**／そうです。だから大腸CT検査を受けるからといって負担を感じることは少ないのでぜひ会員になって検査を受けてほしいですね。

**Q.**大腸にバリウムを注入（注腸）することは

ないのですか。

**伊奈副院長**／ありません。ただ検査の精度を上げるために検査前には自宅で下剤を飲んでいただき、お尻から炭酸ガスを注入して検査を行います。

**Q.**大腸CTで腸の変化をどの程度とらえることができますか。

**長尾主査**／カラー3D処理することによってよりポリープなどの病変を見つけやすくなります。6mm以上の物なら見つかる確率は高くなります。

**Q.**かなり微小段階でがんを見つけることができますね。

**長尾主査**／CT撮影で得られた情報をもとに、大腸の粘膜表面だけではなく、その裏側やひだに隠れた部分も画像処理を行うことにより小さな病変を見逃すことが少なくなります。

**伊奈副院長**／がん検査で求められているのは、いかに早期の段階でがんを発見するかという精度の質です。その点、まさにこの大腸CTは大腸がんの早期発見には有用な検査方法です。

**Q.**「がんから身を守る会」の会員になる条件を教えてください。

**木村さん**／40歳以上の方であれば会員になれます。ただ不整脈、緑内障、前立腺肥大、それに寝返りのできない方は会員になれません。大腸がんのリスクファクター（危険因子）が高いと言われている多量にたばこを吸っている方、家系にがん歴のある方、糖尿病の方は大腸がんを早期発見するためにぜひ会員になってほしいですね。

**Q.**費用は。

**木村さん**／初回は採血検査代と大腸がん検診代含めて21,000円（5%税込み）です。会員になるとがんに関する情報が年2回郵送され、ホスピー講演会の無料参加などの特典があります。また、半年特典でがん専門医またはがん相談支援センターにがん相談を受けることができます。

**Q.**医療現場からみて実際大腸がんは増えていると思いますか。

**松浦看護師長**／看護師として内視鏡検査に立ち会っていますが、確かに大腸がんは増加していると実感します。それも早期ではなく、進行の段階で見ついているケースが目立ちます。

**Q.**大腸がんになる人の数は。

**伊奈副院長**／愛知県のがん登録者数は5,6千人で、毎年2,3%の方が亡くなっているといわれています。わが国では女性では大腸がんによる死亡がトップで、男性では第3位ですが、近い将来男女とも大腸がんは肺がんについて第2位になると予想されています。

**Q.**大腸がんから身を守るための予防法は。

**松浦看護師長**／暴飲暴食を避け、バランスの良い食生活をする。それにがん年齢に達した人は2年に1回の大腸CT検査を受けてほしいです。

**伊奈副院長**／大腸がんは早期発見して早期治療を受ければかなり高い確率で治ります。それに早期発見できれば入院日数も短くてすみ、治療費の負担も少なく、退院後も健康時と同じ状態を維持することができます。大腸がんから身を守るポイントは早期発見です。「がんから身を守る会」の会員になって早期発見に努めてください。

